

1 ワークショップ開催概要

1.1 実施概要

以下のワークショップを実施

	市民ワークショップ
調査目的	瑞浪市や釜戸地区のまちの現状をもとに、釜戸地区の10年後を見据えたまちづくりのあり方を皆さんで話し合いながら、地域活性化拠点のあり方について検討することを目的に実施。
対象者	市民（中京高校生等含む）
実施方法	・5～6人/グループで2～3グループ程度を想定し、ワークショップ形式※で実施

1) 市民ワークショップの考え方

会議	ねらい	具体的方法	提供資料等
第1回 (5月上)	【釜戸地区の現状把握①】 ・釜戸地区の現状についてみんなで学ぶ。参加者の考えを知る（共有する）。	＜グループには分けず、順に意見をいただく（参加者に応じてグループ分けするか要調整）＞ ①自己紹介 ②釜戸地区がどのようなまちだと思っているか、好きな点やよその地域に自慢したい点など、ざっくばらんに話していただく。 ③釜戸地区の統計データや、社会潮流等の資料を説明し、今後、釜戸地区で暮らし続けるために不安に感じていることを話していただく。	・将来のまちづくり（上位計画等） ・瑞浪市や釜戸地区の現況やデータ ・社会潮流（今後10年を見据えた）
第2回 (5月下)	【釜戸地区の現状把握②】 ・地区のまちあるきを通じて、釜戸地区の現状を認識する。	＜適宜グループ分けをして実施＞ ①釜戸地区の中心部周辺をまちあるきしながら、第1回のお話も踏まえ、釜戸地区の好きな点や自慢できる点、改善してほしい点など、新たな発見も含めて、気になった点を写真に撮っていただく。 ②コミュニティセンターに戻り、グループごとに、釜戸地区の自慢できること、改善が必要などところを整理し、発表していただき参加者間で共有。	・第1回のまとめ
第3回 (6月下)	【釜戸地区の将来像の検討】 ・釜戸地区の理想のまちづくり・暮らし方について考える。	＜グループ分けをして実施＞ ①第1回及び第2回の結果をもとに、10年後、瑞浪市のなかで釜戸地区をどのような地区にしていきたいか、どのような暮らし方が実現する地区としたいかについて話し合う。 ②釜戸地区における理想の暮らし方を実現するために、課題となることについて話し合う。	・第2回のまとめ
第4回 (8月下)	【地域活性化拠点のあり方の検討】 ・地域活性化拠点として、具体的な施設のあり方について考える。	＜グループ分けをして実施＞ ①第3回の結果を踏まえ、10年後に地域活性化の拠点が整備されるとしたら、どのような拠点とすべきか（具体的な施設のあり方や必要な取り組み等）について話し合う。	・第3回のまとめ
第5回 (9月下)	【参画意向の把握】 ・地域活性化拠点の整備にあたりどのように関わりたいか、利用したいかについて考える。	＜グループ分けをして実施＞ ①10年後の地域活性化の拠点の整備にあたり、どのように関わりたいか、どのように利用したいかについて話し合う。 ②そのうえで、施設のあり方（利用の仕方）についてより具体的な内容を引き出す。	・第1～3回のまとめをもとにした地域活性化拠点像

参加者募集！

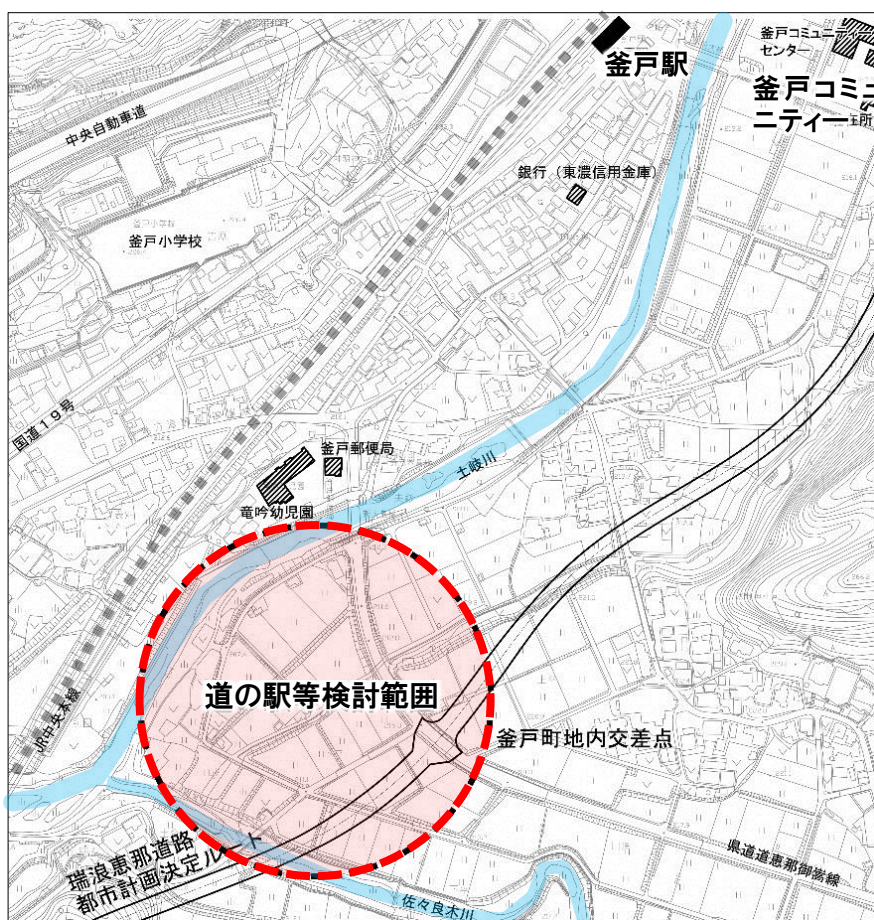
地域活性化の拠点に関するワークショップに参加しませんか

現在、瑞浪市では、釜戸駅周辺エリア（下図参照）において、地域活性化の拠点（道の駅等の施設）の整備を検討しているところです。市は、この施設を、瑞浪市及び釜戸町の地域課題解決に向けた地域住民のための施設とするとともに、国道 19 号瑞浪恵那道路の整備に伴う道路利用者のための施設とすることを検討しています。

そこで、市民のみなさんが地区の活性化の拠点として必要と考える施設や機能（取組み）等について、市民ワークショップを通じ、具体的なご意見を伺います。

開催日程と各回のテーマは別表のとおりです。

ぜひ、皆様お誘いあわせのうえ、ふるってご参加ください！



※ワークショップとは・・・

さまざまな意見をもつ人たちが、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく手法のこと。

【開催予定・内容】

開催日時	テーマ
◆第1回 H30.5.26(土) 10時～12時	～釜戸地区の現状についてみんなで話し合おう～ 釜戸地区の現状について、みんなで学びながら、参加者の皆さんのお考えについて共有します。
◆第2回 H30.6.9(土) 9時～12時	～釜戸地区を歩きながら、良い点や改善すべき点を探してみよう～ 釜戸地区のまち歩きを通じて、釜戸地区の良いところや改善すべき点をみんなで話し合います。
◆第3回 H30.6.23(土) 10時～12時	～釜戸地区の将来像について考えよう～ これまでの話し合いをもとに、瑞浪市として釜戸地区をどのような地区にすべきか、どのような暮らし方がふさわしいのかについてみんなで考えます。
◆第4回 H30.8.25(土) 10時～12時	～地域活性化の拠点のあり方について考えよう～ 地域活性化の拠点が整備されるとしたら、どのような拠点とすることが望ましいか、具体的な施設のあり方や必要な取り組み等についてみんなで考えます。
◆第5回 H30.9.29(土) 10時～12時	～地域活性化の拠点との関わり方を考えよう～ 10年後に地域活性化の拠点が整備されたら、参加者の皆さんはどのように関わりたいか、どのように利用したいかについて話し合います。

【お申込条件】

- 各回のワークショップ開催は、釜戸コミュニティーセンターです。
- ワークショップ参加はボランティアのため、報酬はありません。
- 瑞浪市内在住の、高校生以上の方を対象とします。
- できるだけ5回すべてのワークショップに参加可能な方。
- 申込多数の場合、お断りすることがありますので、ご了承ください。

【お申込・お問合せ】

お申込・お問合せは、下記の連絡先までご連絡ください。
お申込の〆切は、5月21日（月）です。

●瑞浪市建設部都市計画課 TEL：68-9817（直通）

FAX：68-9861

e-mail：tokei@city.mizunami.lg.jp

“地域活性化に向けた新たな拠点” って何のこと？



- 瑞浪市においても人口減少・少子高齢化が進行しており、特に釜戸地区は、市域の中でも人口減少・高齢化が著しい地区であることから、今後、地域の活力をいかに維持していくかが大きな課題となると考えられています。
- 一方で、岐阜県下では、2027 年度のリニア中央新幹線の開通に伴う道路整備等が進められ、本市においても国道 19 号瑞浪恵那道路が整備されることから、これらをきっかけとした地域活性化を進めていくことが重要と考えます。
- これらを背景に、本市では、釜戸地区の課題解決に向けた住民のための施設として、また、国道 19 号瑞浪恵那道路の利用者のための施設とすることを目的として、およそ 10 年後を目標に、地域活性化の拠点（釜戸区のまちづくりの核・道の駅）を整備するための検討が始まりました。
- この瓦版では、釜戸地区・大湫地区の皆さんを対象に、「地域活性化に向けた新たな拠点（道の駅）」の検討の状況等について随時お知らせしていきます。



地域活性化に向けた拠点施設は、およそ 10 年後このあたりに整備することを予定しています。



地域活性化に向けた新たな拠点（道の駅）の計画地範囲

どんな施設にしたいのか、みんなで考えないかね！

計画予定地



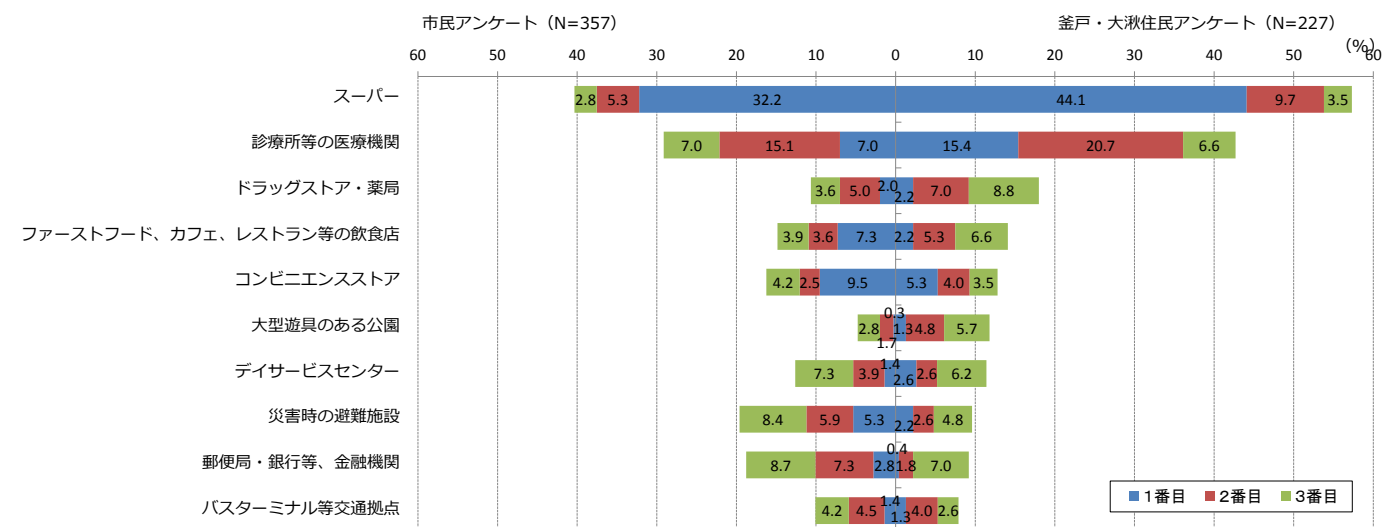
市民のみなさんのご意見をお聞きしています

- この検討にあたり、市民のみなさんには、アンケート調査、検討委員会、ワークショップ等において意見等をいただきましたので、主な結果をお知らせします。

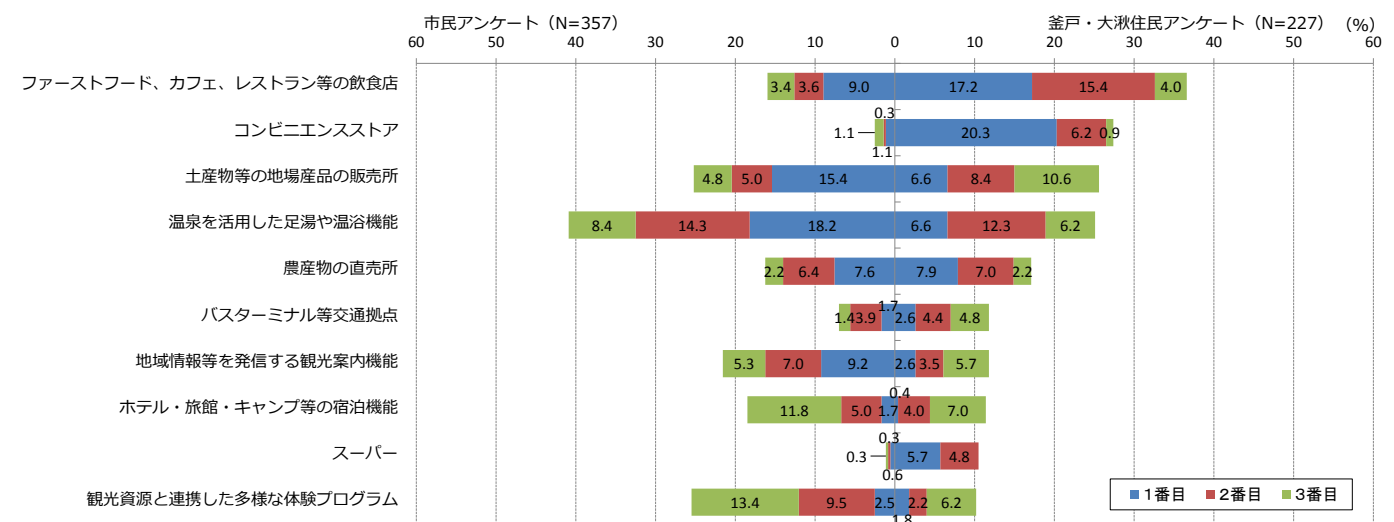


■ アンケート調査を実施しました

- 「瑞浪市市民生活の現状についてのアンケート（市民アンケート）」、及び「地域活性化の拠点整備に関するアンケート（釜戸・大湫住民アンケート）」を実施し、主に、地域活性化の拠点として必要な施設や機能についてお尋ねしました。
- 地域住民の視点では、いずれの調査からも「スーパー」「診療所等」が上位となっていますが、特に「スーパー」「診療所等」については住民アンケートで、「避難施設」については市民アンケートで多くなっており差が見られます。
- 道路利用者の視点では上記に差が見られ、市民アンケートでは「温浴機能」「体験プログラム」が上位となっていますが、住民アンケートでは、「飲食店」「コンビニエンスストア」が上位となっています。



地域住民の視点で必要な施設・機能（上位）



道路利用者の視点で必要な施設・機能（上位）

■検討委員会（H30.3.19／H30.6.27）を開催しました

- 3月19日の準備会では、岐阜大学の原田准教授、出村准教授を学識経験者に迎え、まず、拠点整備について、現時点の皆さんのお考えや思いをざっくばらんにお聞きしました。
- 第1回検討委員会では、ワークショップやアンケート等についての結果を報告し、地域活性化拠点（道の駅）のコンセプトや導入機能についてご意見をいただきました。

<主なご意見>

第一回委員会の意見の概要を追記予定

■ワークショップを開催しました

- 地域活性化の拠点（道の駅）の整備にあたり、市民のみなさんにまちづくりの視点からご議論いただくために、これまで3回のワークショップを開催しました。

第1回「釜戸地区の現状についてみんなで話し合おう」（H30.5.26）

- 第1回は瑞浪市や釜戸地区の現状や社会潮流等を説明したうえで、委員の皆さんに釜戸地区の好きな点と問題点についてざっくばらんにご意見をいただきました。
- 釜戸地区の好きな点について多くのご意見をいただきましたが、人口減少や高齢化など、地区の将来を考えると、問題点も少なくないということを確認したWSでした。

<主なご意見>

好きな点	問題点
・住民にまとまりがあり自治体活動も盛ん、また子供の見守りなども積極的 ・駅があるので人を呼び込める ・普通に住みやすい ・自然が豊かで、街道沿いに歴史が残っている	・若者・子供の流出や一人暮らし高齢者の増加、空き家の増加 ・買物できる店がほぼなく、また、通院等も車がないと不便 ・特産もなく、温泉が出ているのに活かせておらず、地域の目玉がない



上：WSの様子 下：WSの結果



第2回「釜戸地区を歩きながら、良い点や改善すべき点を探してみよう」（H30.6.9）

- 梅雨の晴れ間のなか、実際に計画地周辺を歩きながら、「暮らしの視点」や「人を呼び込む視点」から気になった点について写真を撮っていただき、地図上に整理していただきました。



まちあるきの様子



とりまとめの様子



まちあるきのとりまとめ結果



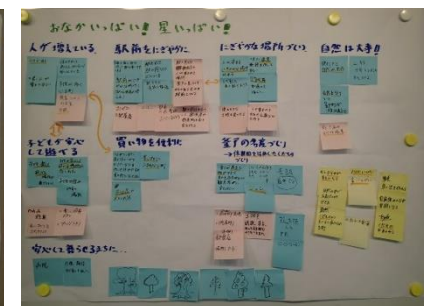
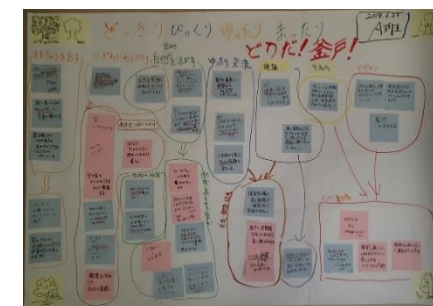
まちあるきの様子

<主なご意見>

- ・整備予定地と釜戸駅の間にある資源を活かしたまちづくりの必要性や、整備予定地周辺の水辺とのふれあいのほか、竜吟の滝や水晶山への周遊を促す仕掛け作りが必要といったご意見をいただきました。

第3回「釜戸地区の将来像について考えよう」（H30.6.23）

- 第3回は、中京高校の学生のみなさんにも参加いただき、釜戸地区の将来像（釜戸地区における理想の暮らし方）を考えていただきました。



とりまとめ結果

<主なご意見>

- ・釜戸地区の将来像として、人が住み続けられる釜戸とするために、買い物がしやすくなるスーパーや、子どもが安心して遊べる公園が必要といったご意見をいただきました。また、釜戸を訪れる人を増やすために、自然や農を活かした賑わいの仕掛けづくりや特産品づくり、空き家を活用したイベント開催といった具体的にご意見をいただきました。
- ・このような将来像の実現には、交通環境の改善やSNSなどを活用した情報発信が必要というご意見をいただきました。

今後のスケジュール（予定）

- 現在、想定している今後のスケジュールは次の通りです。

	日程	主な内容
ワークショップ	第4回（H30.8.25）	○地域活性化の拠点のあり方について考えよう 地域活性化の拠点が整備されるとしたら、どのような拠点とすることが望ましいか、具体的な施設のあり方や必要な取り組み等についてみんなで考えます。
	第5回（H30.9.29）	○地域活性化の拠点との関わり方を考えよう 10年後に地域活性化の拠点が整備されたら、参加者の皆さんはどのように関わりたいか、どのように利用したいかについて話し合います。
検討委員会	第2回（H30.7月下旬）	○コンセプトの検討、導入機能の検討
	第3回（H30.11月下旬）	○施設規模の検討、配置計画の検討
	第4回（H31.2月中旬）	○基本構想（案）の最終確認

<お問い合わせ先> 瑞浪市建設部都市計画課 TEL：0572-68-9817 FAX：0572-68-9861